

令和5年度 在宅医療・介護連携推進事業 在宅看取り部会

中部地区における施設・自宅看取り体制及び
身寄りのない高齢者の現状把握に関するアンケート調査
＜結果報告書・消防本部＞

令和5年11月

一般社団法人中部地区医師会
在宅医療・介護連携推進事業
在宅ゆい丸センター

I 調査概要（全体）

●調査の目的

今年度設置した在宅看取り部会において、医療や介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、現在発生している地域課題、今後の高齢者増加に伴い発生する地域課題の解決に向けた効果的な取り組みの仕組みづくりに関する協議を深めるため、中部地区における現状の把握を目的にアンケート調査を実施した。

●調査対象

- ・高齢者入所施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、グループホーム）
- ・居宅介護支援事業所
- ・地域包括支援センター
- ・病院
- ・消防本部

●調査方法

当センターより郵送にて配布、下記①または②の方法で回収した。

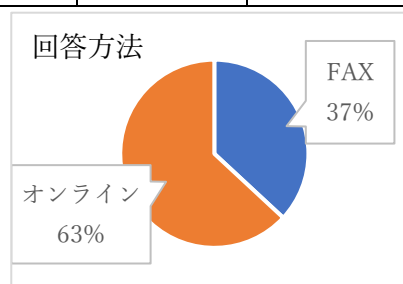
- ① FAX 回答
- ② オンライン回答

●調査期間

令和5年9月20日（水）～令和5年11月10日（金） ※延長期間分を含む

●回収状況

施設種別	調査対象数	回答数	回答率
高齢者入所施設	263	101	38.4%
居宅介護支援事業所	196	80	40.8%
地域包括支援センター	28	24	85.7%
病院	27	21	77.7%
消防本部	7	7	100%
合計	521	233	44.7%



Ⅱ 基本情報（消防本部）

1. 高齢者について

高齢者とは、65歳以上の方を指す。

2. アンケート調査対象地域について

ニライ消防本部 : 北谷町・嘉手納町・読谷村
宜野湾市消防本部 : 宜野湾市
沖縄市消防本部 : 沖縄市
うるま市消防本部 : うるま市
東部消防組合消防本部 : 西原町（当事業管轄地域であるため西原町のみ抽出）
中城北中城消防本部 : 中城村・北中城村
金武地区消防衛生組合消防本部 : 金武町・宜野座村・恩納村

3. 傷病程度について

傷病程度は、次のとおりとする。

軽 症：傷病程度が入院加療を必要としないもの。
中等症：傷病程度が重症または軽症以外のもの。
重 症：傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの。
死 亡：初診時において死亡が確認されたもの。

4. 高齢者人口について

各消防本部が管轄している地域の高齢者人口は下記のとおり。

※沖縄県 令和2年度住民基本台帳年齢別人口（令和5年1月1日現在）から引用。

	ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
高齢者人口	18,994	20,491	29,177	30,605	8,124	8,643	7,408

5. 高齢者入所施設数について

各消防本部が管轄している地域にある高齢者入所施設の数下記のとおり。

※医療・介護おたすけマップより、令和5年11月21日時点のデータを抽出。

	ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
施設数	23	36	61	81	11	22	16

Ⅲ 調査結果（消防本部）

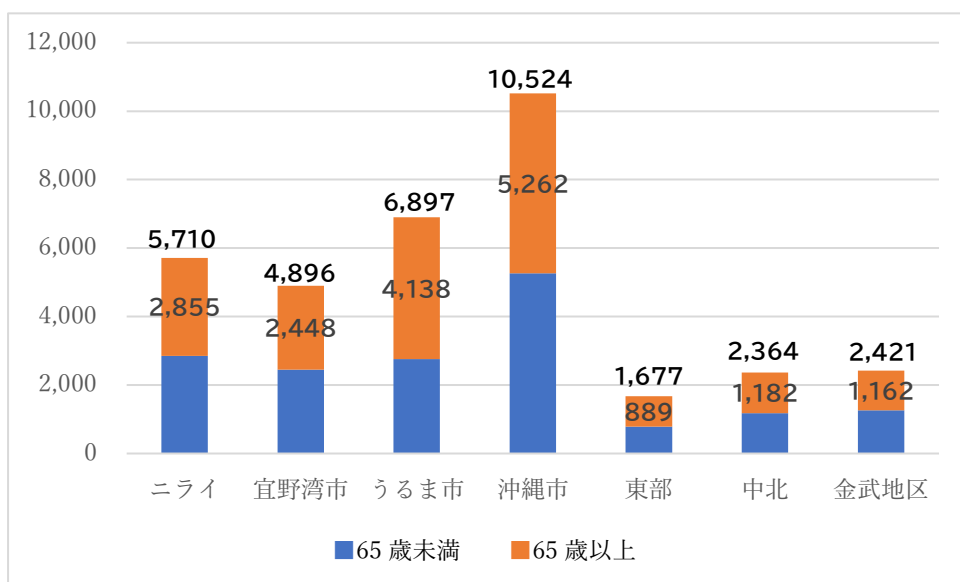
（１）高齢者の救急搬送に関する質問

1. 前年度1年間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の全年齢の救急搬送のうち、高齢者（65歳以上）の件数および割合を教えてください。

- ・65歳以上の高齢者の救急搬送件数について、すべての消防本部が5割前後または5割以上であった。

	ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
全体	5,710	4,896	6,897	10,524	1,677	2,364	2,421
65歳以上	2,855	2,448	4,138	5,262	889	1,182	1,162
割合	5割	5割	6割	5割	5.3割	5割	4.8割

※65歳以上の高齢者及び割合を聞き取り、全体数については割合から算出した。



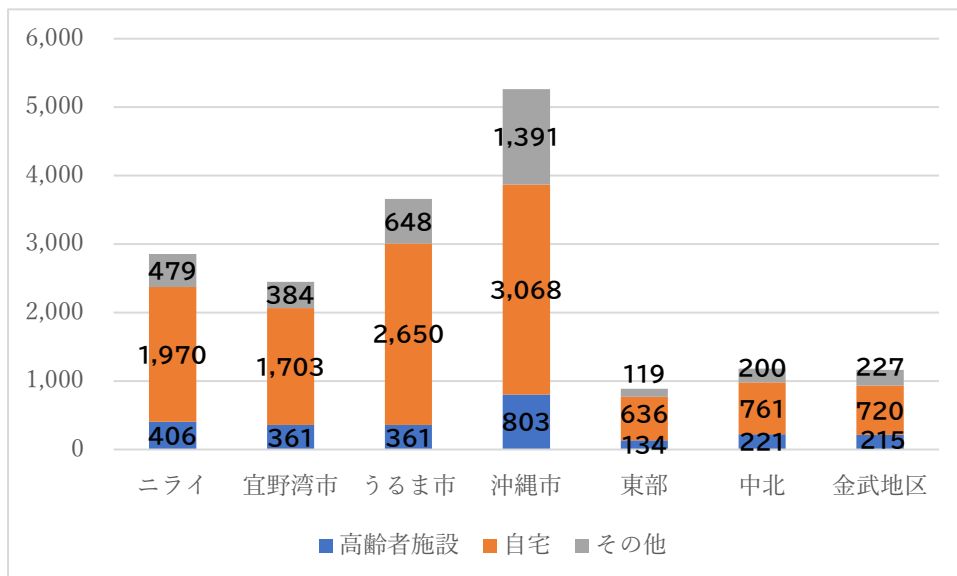
2. 前年度 1 年間の高齢者の救急搬送のうち、高齢者施設からの搬送、自宅からの搬送はそれぞれ何件ですか。

- ・ 高齢者の救急搬送について、どの消防本部も自宅からの救急搬送が一番多いと回答した。
- ・ その他の場所からの救急搬送が 2 番目に多いと回答した消防本部が 5 か所であったが、いずれの消防本部も高齢者施設、その他の差はあまりなかった。

	ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
高齢者施設	406	361	361	803	134	221	215
自宅	1,970	1,703	2,650	3,068	636	761	720
その他	479	384	648	1,391	119	200	227
計	2,855	2,448	4,138	5,262	889	1,182	1,162

※高齢者施設、自宅からの救急搬送件数を聞き取り、その他及び合計件数を算出した。

1 番目に多い 2 番目に多い

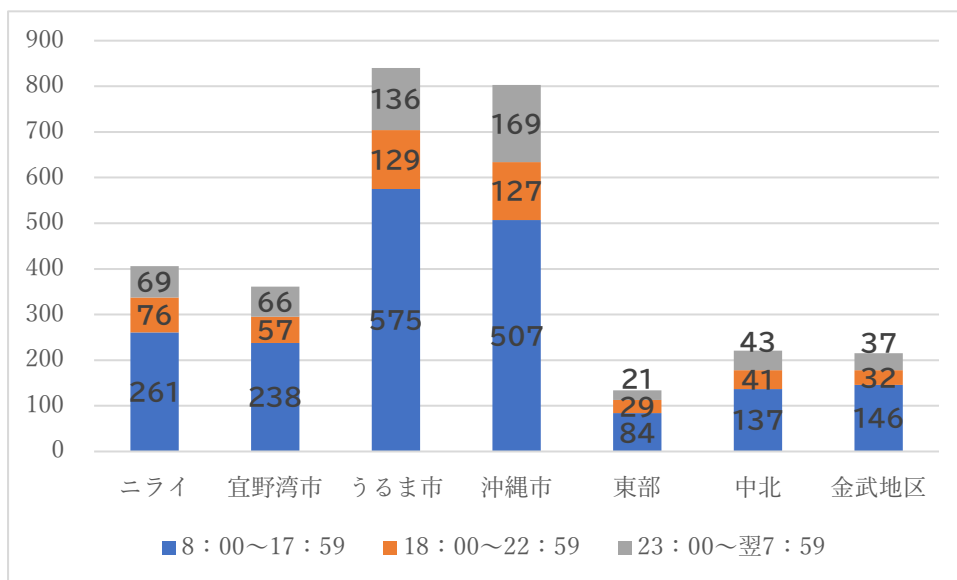


3. 前年度 1 年間の高齢者の救急搬送のうち、高齢者施設からの救急搬送における時間帯別の件数を教えてください。

- ・すべての消防本部で日中（8：00～17：59）の救急搬送が一番多いと回答した。
- ・その他の場所からの救急搬送が 2 番目に多いと回答した消防本部が 5 か所であったが、いずれの消防本部も高齢者施設、その他の差はあまりなかった。

	ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
8：00～17：59	261	238	575	507	84	137	146
18：00～22：59	76	57	129	127	29	41	32
23：00～翌7：59	69	66	136	169	21	43	37
計	406	361	361	803	134	221	215

1 番目に多い 2 番目に多い



4. 高齢者（65歳以上）の救急搬送の原因疾病分類について、上位3つを教えてください。

- ・高齢者施設からの救急搬送の原因疾病分類について、すべての消防本部で「呼吸器系」が一番多く、次いで「循環器系」、「泌尿器系」が多かった。
- ・自宅からの救急搬送の原因疾病分類について、高齢者施設で一番多かった「呼吸器系」と回答した消防本部は3か所で、高齢者施設で2～3位に回答が多かった「泌尿器系」は入っていない。
- ・自宅からの救急搬送の原因疾病分類で2～3位に多く入っている「消化器系」は、高齢者施設には1か所の消防本部のみ入っていた。
- ・高齢者施設、自宅のいずれにおいても、「呼吸器系」「循環器系」の割合が多かった。

< 高齢者施設 >

	1位	2位	3位
ニライ	呼吸器系	その他（新型コロナ）	循環器系（心疾患）
宜野湾市	呼吸器系	症状及び徴候	泌尿器系
うるま市	呼吸器系	泌尿器系	循環器系
沖縄市	呼吸器系	泌尿器系	循環器系（心疾患）
東部	呼吸器系	循環器系（心疾患）	その他
中北	呼吸器系	循環器系（心疾患）	泌尿器系
金武地区	呼吸器系	循環器系	消化器系

< 自宅 >

	1位	2位	3位
ニライ	その他（新型コロナ）	循環器系（心疾患）	その他（外傷）
宜野湾市	症状及び徴候	循環器系（心疾患）	呼吸器系
うるま市	その他（外傷、骨折）	呼吸器系	循環器系
沖縄市	呼吸器系	消化器系	循環器系（心疾患）
東部	その他	呼吸器系	消化器系
中北	呼吸器系	循環器系（心疾患）	消化器系
金武地区	呼吸器系	循環器系	消化器系

呼吸器系 循環器系 泌尿器系 消化器系

5. 高齢者（65歳以上）の救急搬送の傷病程度別の件数を教えてください。

- ・高齢者施設からの救急搬送の傷病程度について、すべての消防本部で「中等症」が一番多く、次いで「軽症」が多いと回答した。
- ・自宅からの救急搬送の傷病程度について、高齢者施設とは異なり、「軽症」が一番多いと回答した消防本部が5か所、「中等症」が一番多いと回答した消防本部が2か所であった。

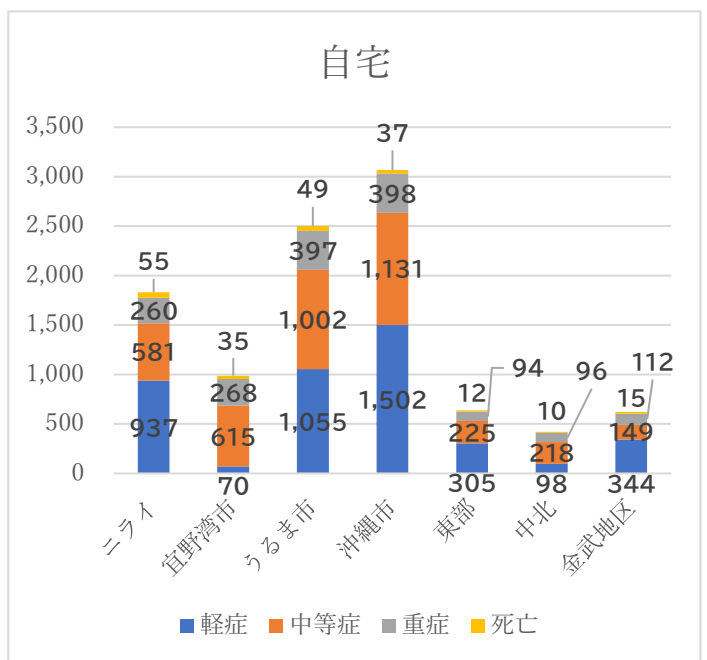
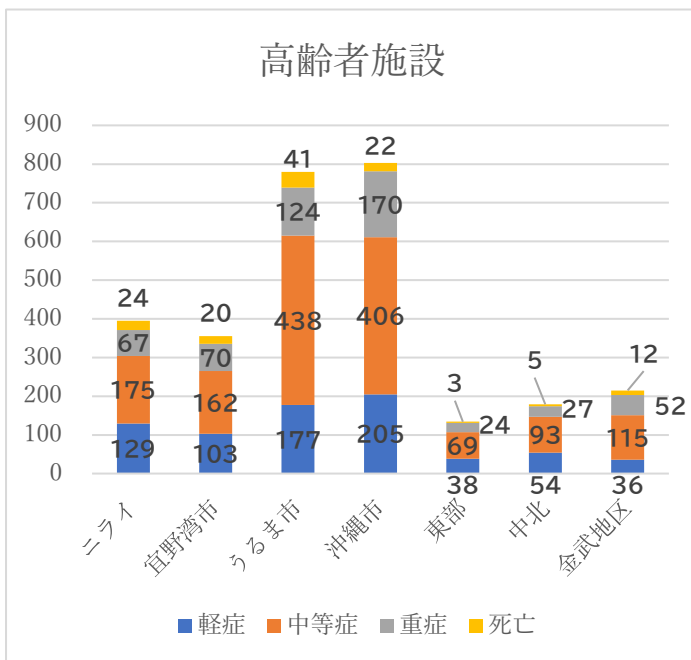
<高齢者施設>

	ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
軽症	129	103	177	205	38	54	36
中等症	175	162	438	406	69	93	115
重症	67	70	124	170	24	27	52
死亡	24	20	41	22	3	5	12
計	395	355	780	803	134	179	215

<自宅>

	ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
軽症	937	70	1,055	1,502	305	98	344
中等症	581	615	1,002	1,131	225	218	149
重症	260	268	397	398	94	96	112
死亡	55	35	49	37	12	10	15
計	1,833	988	2,503	3,068	636	422	620

1 番目に多い 2 番目に多い



6. 高齢者施設からの救急搬送時、施設職員から得る患者の情報提供は十分だと感じますか。

- ・施設職員からの患者の情報提供について、十分提供を受けていると回答した消防本部は2か所のみで、5か所は十分でないと回答した。

ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

7. 質問6の回答理由を教えてください。

- ・施設職員からの患者の情報提供が十分であると回答した消防本部においても、「基本的には必要な情報が得られているが、たまに十分でない事もある」「夜間の救急搬送時に関しては情報提供が十分でない事がある」との回答であった。
- ・施設職員からの患者の情報提供が十分でないと回答した理由について、「施設や施設職員によって十分である場合とそうでない場合がある」「情報の更新がされていない」等の回答であった。

	質問6の回答理由
ニライ	・基本的には必要な情報を得られているが、まれに疾病発生時の詳しい状況を得られないことがある。（職員が交換した直後等）
宜野湾市	・十分な場合もあるが、施設や職員によってまちまちで、提供する情報を標準化した方がよい。
うるま市	・高齢者施設にてどの職種の方が勤務され、救急隊へ申し送りをして頂くかも重要です。施設によってはスタッフの人数、職種など（看護師・介護士等）様々です。基本的には、施設で必要な情報が救急搬送時に得られていますが、夜間や一部適切な情報提供が頂けない施設もあるのが現状かと思えます。
沖縄市	・情報の更新がされていなかったり、情報を把握していないことが度々ある。
東部	・かかりつけが不明 ・事前受け入れ確認のお願い ・患者の情報量が少ない ・DNAR情報が不十分 ・経過をまとめてほしい
中北	・施設によって情報提供の量や質が様々であり、十分とは言えない。 ・夜間の出動時や重症対応時に十分な情報が得られない時がある。 ・施設によっては、職員の態度が悪い時がある。
金武地区	・救急車への同乗を拒否するケース多数（人が足りないとの理由）、現場のみの引き継ぎでは不十分と思われる。

8. 自宅からの救急搬送時、患者家族や支援者（医療・介護関係者）から得る情報提供は十分だと感じますか。

- ・患者家族や支援者からの患者の情報提供について、質問6同様、2か所の消防本部が十分であると回答し、5か所の消防本部は十分でないと回答した。

ニライ	宜野湾市	うるま市	沖縄市	東部	中北	金武地区
はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

9. 質問8の回答理由を教えてください。

- ・患者家族や支援者からの患者の情報提供が十分であると回答した理由について、「自宅は家族や決まった支援者が介護しているため十分な情報提供が得られやすい」と回答であった。
- ・患者家族や支援者からの患者の情報提供が十分でないとして回答した理由について、「家族によっては十分に得られない場合もある」等の回答であった。

	質問8の回答理由
ニライ	・医療従事者やキーパーソンとなる家族からは十分な情報提供が得られることが多い。
宜野湾市	・質問7と同様に、人により差があるため提供する情報を標準化した方がよい。
うるま市	・救急車の要請時、病態把握の上で普段の状況と比べてどう違うのかということも非常に重要なポイントになるかと考えます。自宅から家族が要請となれば普段との違いやADLなどの情報は得やすいと感じます。しかしながら家族が普段の様子や病歴等、把握しておらず必要な情報が聴取できない場合もあります。自宅から支援者（医療・介護関係者）の救急要請でも、情報は得やすいと思いますが、発症経緯（いつから悪化）が不十分な場合もあります。
沖縄市	・情報の更新がされていなかったり、情報を把握していないことが度々ある。
東部	・家族、支援者によって情報に違いがある。
中北	・家族であっても病歴、生活状況などの情報が得られないこともある。
金武地区	・老々介護など傷病者、同居者どちらからも情報がとれない事がある。

10. 高齢者施設や自宅からの救急搬送時、苦慮した事がありましたら教えてください。

- ・高齢者施設や自宅からの救急搬送時に苦慮した事について、「施設職員や家族の救急車への同乗がない場合、または同乗者が患者情報を持っていない場合に十分な患者情報を得られない」「DNARの意思表示がある方の救急要請、DNARの情報が不十分」等、同乗がない場合の情報収集の困難さやDNARに関する回答が一番多く挙がった。

	高齢者施設や自宅からの救急搬送時に苦慮した事
ニライ	・DNARの意思表示がある傷病者が、心肺停止を理由に家族等が救急要請した場合に、蘇生処置を行わずに医療機関への搬送を希望されることがある。
宜野湾市	・心肺停止や重症患者の搬送時、施設職員の同乗が人出不足等の理由から拒否されることがあるので、確実に同乗して頂きたい。また、救急車に同乗する施設職員が状況を把握していない場合があるため、状況を把握している職員が同乗して頂きたい。
うるま市	・昨今は、救急搬送時における医療機関の受け入れ態勢が厳しいという事もあり、かかりつけ病院へ搬送できず初診の病院に搬送することもあります。救急隊が搬送受け入れの病院連絡時に家族の同乗を求められる事や家族が病院へ直ぐに向かう事ができるか、救急隊へ確認する事も多くなってきています。救急活動上非常に大切なのは傷病者の情報です。緊急搬送時に施設スタッフや家族の同乗が無い場合（特に重症事案）は、病院への引継ぎ時など救急隊は苦慮している現状ではあります。診察や治療にも影響してくるかと考えます。高齢者施設等でスタッフの人数も限られ同乗できない状況も十分理解しますが、救急車要請時には施設スタッフの同乗ができるような体制を取って頂きたいと考えます。
沖縄市	回答なし
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・意識レベルが悪い傷病者で情報提供もなく、施設職員も患者情報を把握していない場合に苦慮した。 ・施設が病院選定していれば助かる。病院選定に時間を要す。 ・同乗がない場合がある（または、同乗者が情報を知らない、持っていない） ・なぜ救急要請したのか曖昧な時がある。
中北	・施設からの同乗者がいないことや情報を持っていない、状況を知らない職員が同情する場合。キーパーソンと連絡がつかない場合。DNARの該当、非該当の情報を聴取する際に曖昧な回答が返ってくることや情報が不十分なことがあり、搬送まで時間を要することがある。そういった情報は早い方が助かる。情報を持っているが同情せず（できない）、病院引継ぎに病院側から求められる為、回答に苦慮する。
金武地区	・観察能力、DNARなど基本的な知識がない介護士が多い。人手不足や離職率の高さなどが背景にあると思う。自宅からの搬送では独居や身寄りがなく不安感から救急頻回利用に繋がり、救急医療に負担が掛かると思う。

(2) 身寄りのない高齢者に関する質問

1. 身寄りのない方の救急搬送で何か困った事がありましたら教えてください。

- ・身寄りのない方の救急搬送の困り事について、「現病や病歴、内服薬、通院先病院などの情報収集が困難」との回答が一番多かった。
- ・また、身寄りのない方は救急車の頻回利用に繋がる事の懸念や、身寄りがいない事で受け入れ先病院が見つからない、または時間がかかる等の回答も挙がった。

	身寄りのない方の救急搬送時に困った事
ニライ	・本人の自宅以外で救急要請があった場合、普段の状況や現病・内服薬等の情報が得られないことがある。
宜野湾市	・通院先病院、病歴、既往症等の情報不足により、活動中の判断が難しくなることがある。
うるま市	・身寄りのない高齢者が救急要請をする場合、どうしても救急車も頻回利用につながるケースもあります。高齢化社会となりこのようなケースは増加することが思慮されます。この問題を消防・市役所（関係課）・他機関を含め連携して指導や改善を検討することが必要だと思えます。
沖縄市	・受け入れる側の病院は、家族の同乗がなかったり連絡がとれないと、搬送を嫌がります。本人の意識がはっきりしない場合、処置の同意がとれなかったり退院時の帰宅の困難などがあります。
東部	・情報がなく病院選定に苦慮する。 ・付き添いがない(自力で戻れない)ため、病院側に断られるケースがある。
中北	・受入先病院が見つからない、病院決定までに時間を要することがある。病院側は帰りのことを心配し、時々送迎者がいないと受け入れを断ることがある。活動時、情報が全く取れないことがある。
金武地区	・帰りのタクシー代の相談、生活が苦しい、相談するところが分からない為救急要請があるが、救急隊はどちらに支援を繋げていけるのかわかりません。(地域包括？行政？民生委員？個人保護条例は？)